

加湿量算出方法

天井埋込ダクト形 加湿付

VAM15GAM(S)・VAM15GAME(S)
VAM25GAM(S)・VAM25GAME(S)
VAM35GAM(S)・VAM35GAME(S)
VAM50GAM(S)・VAM50GAME(S)
VAM65GAM(S)・VAM65GAME(S)
VAM80GAM(S)・VAM80GAME(S)
VAM100GAM(S)・VAM100GAME(S)

天井埋込ダクト形 外気処理タイプ

VKMP50GAM
VKMP80GAM
VKMP100GAM

天井埋込カセット形 加湿内蔵タイプ

VACM250BS
VACM500BS

壁ビルトイン形 加湿内蔵タイプ

VASM500A
VASM800A
VASM1000A

■天井埋込ダクト形 加湿付／外気処理タイプ、壁ビルトイン形 加湿内蔵タイプ (VA-GAM(E)(S)、VKMP-GAM、VASM-A)

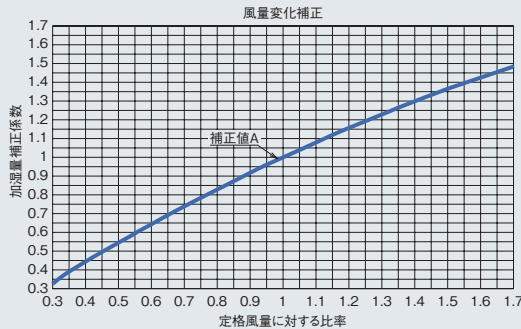
使用機種の加湿器入口空気 (下図「空気回路上の記号」SA)の状態を求め、これにより加湿量補正係数をグラフA・Bより読み取り、下記計算式で算出します。

【算出加湿量】

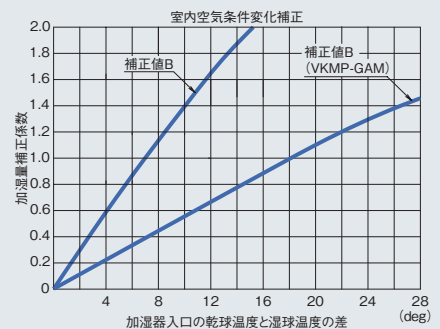
算出加湿量＝

定格加湿量×補正值A×補正值B※

●グラフA



●グラフB



空気線図を利用した基本的な方法

※空気線図は別途ご用意ください。

※天井埋込ダクト形 外気処理タイプ (VKMP-GAM) のみ補正值Bが異なります。

■天井埋込カセット形 加湿内蔵タイプ (VACM-BS)

処理風量、室内空気条件より加湿量補正係数をグラフC・Dより読み取り、右記計算式で算出します。

【算出加湿量】

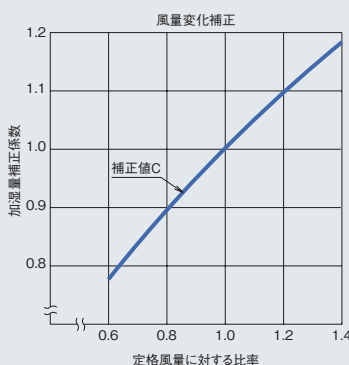
算出加湿量＝定格加湿量×補正值C×補正值D×補正值E

【計算例】 設定条件…VACM250BSで処理風量230m³/h、室内空気15℃40%RH、室外空気5℃50%RHの時の加湿量

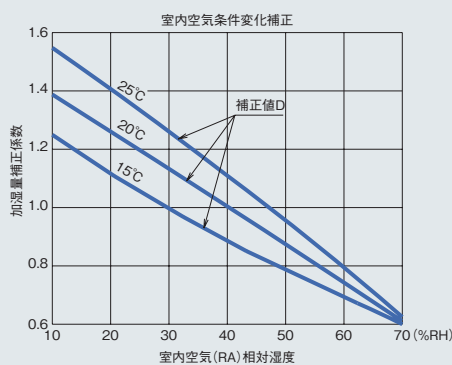
- ① 処理風量は定格風量 (強ノッチ: 250m³/h) に対して0.92倍 (230÷250=0.92) ですのでグラフCより補正係数は0.97となります。
- ② 室内空気15℃40%RHは、グラフDより補正係数は0.88となります。
- ③ 室外空気5℃50%RHは、グラフEより補正係数は1.005となります。
- ④ 上記①～③の結果を計算式に入れます

算出加湿量＝0.80kg/h (定格加湿量) × 0.97 × 0.88 × 1.005 ÷ 0.68kg/h

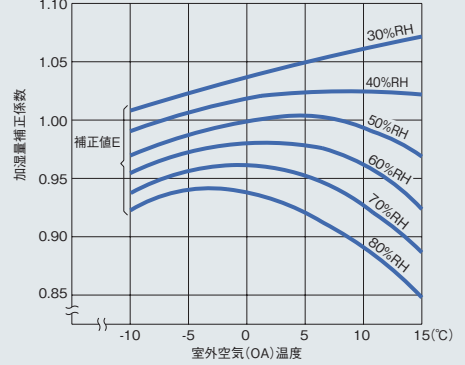
●グラフC



●グラフD



●グラフE

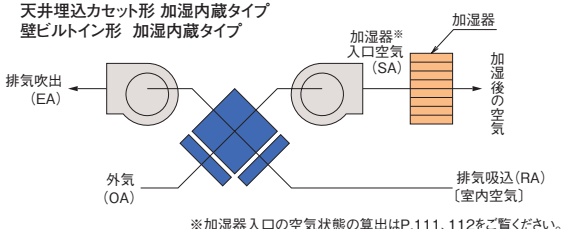


※定格風量および定格加湿量とはカタログ・承認図等で表示されている基準条件時 (特強・強ノッチ) の値です。但し、VACM-BSは強ノッチの値です。

※補正後の加湿量は目安としてお使いください。施工状態等で変動することがありますので、設置後の状態において保証するものではありません。

■空気回路上の記号

- 天井埋込ダクト形 加湿付
- 天井埋込カセット形 加湿内蔵タイプ
- 壁ビルトイン形 加湿内蔵タイプ



- 天井埋込ダクト形 外気処理タイプ

